

マルヤマシュウカイドウ

じゅんげつめつ きく
準絶滅危惧



学名 Begonia laciniata var. formosana

科名 シュウカイドウ

別名

区分 草本科

分布 石垣島、西表島、台湾

葉の形

葉の縁 鋸歯

葉の先

葉の種類 単葉

葉の付方 互生

葉の基部

実の種類 蒴果

花・萼色 淡紅色、白色

説
明

山地の樹林下に生える高さ30-40cmの多年生の草本で、根茎を這わせて葉と根を出します。葉は円形で長さ10-15cm、葉の縁は浅裂し、鋸歯があります。コウトウシュウカイドウとそっくりですが、葉の切れ込みなどで見分けることができます。